

令和2年度 貸借対照表

【令和3年3月31日現在】

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	50,851	62,393	△ 11,542
普通預金	8,901,036	6,410,337	2,490,699
未収金	0	0	0
流動資産合計	8,951,887	6,472,730	2,479,157
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
発展準備積立資産	2,500,000	2,500,000	0
退職給付引当資産	2,090,000	1,660,000	430,000
特定資産合計	4,590,000	4,160,000	430,000
(3) その他固定資産			
借室保証金	225,000	225,000	0
什器・備品	0	0	0
その他固定資産合計	225,000	225,000	0
固定資産合計	4,815,000	4,385,000	430,000
資産合計	13,766,887	10,857,730	2,909,157
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	2,670,000	2,696,950	△ 26,950
前受金	4,316	11,250	△ 6,934
未払金	0	0	0
預り金	36,333	23,945	12,388
流動負債合計	2,710,649	2,732,145	△ 21,496
2. 固定負債			
発展準備積立引当金	0	0	0
退職給付引当金	2,090,000	1,660,000	430,000
固定負債合計	2,090,000	1,660,000	430,000
負債合計	4,800,649	4,392,145	408,504
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	()	()	(0)
(うち特定資産への充当額)	(4,590,000)	(4,160,000)	(430,000)
正味財産合計	8,966,238	6,465,585	2,500,653
負債及び正味財産合計	13,766,887	10,857,730	2,909,157

(注記) 1. 引当金の計上基準

- ① 発展準備積立資産…事業運営の財政基盤の安定化を図るため、計画的に計上している。
- ② 退職給付引当資産…期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

2. 特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
発展準備積立資産	2,500,000	0	0	2,500,000
退職給付引当資産	1,660,000	430,000	0	2,090,000
合 計	4,160,000	430,000	0	4,590,000

3. 実施事業資産はない。